



第3号

National Institute of Technology, Sendai College

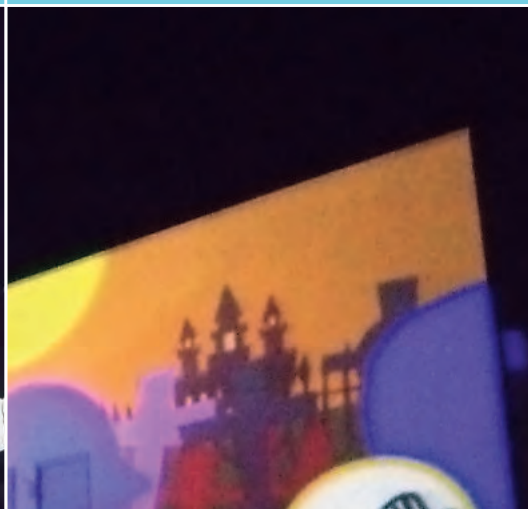
仙台高専

だより

URL <http://www.sendai-nct.ac.jp/>

CONTENTS

2	卒業生・修了生へのメッセージ
3	新任教員紹介
4-5	進路指導と進路実績について
6-7	高専体育大会結果について
8-9	学生の活動状況について
10-14	卒業生・修了生の研究題目一覧
15	研修旅行について
16	校外研修報告
17	マスコットキャラクター、本校ロゴ(タイプ)の一部変更について
18	文芸コンクール・読書感想文コンクール
19	教職員からの教育研究・業務紹介
20	退職教職員メッセージ
21	東日本大震災から5年～震災記録誌について～
22	活動状況報告
23	キャンバストピックス



**NATORI
CAMPUS**



**HIROSE
CAMPUS**

仙台高等専門学校

卒業生・修了生へのメッセージ

卒業・修了を間近に控えた学生諸君は、これから行く世界に希望と不安を抱いて過ごしていることと思います。このような思いは、将来を考え、未知の分野を進んでいこうとするときはだれしも同じです。しかし、高専で学んだ諸君は、専門の理論、その応用力、実践力、創造力など、社会で必要とされる基本的な力を身に付けており、それを実社会で磨き上げていけば大きな力になるはずです。



校長 内田 龍男

これからの社会は変化がさらに激しくなっていくと思います。過去の蓄積がそのまま機能するのはたかだか数年～10年で、20年もたてばほとんど全てが大きく変わる時代です。この10数年の日本企業の盛衰の激しさ、事業内容の変化の目まぐるしさなどは皆さんもご承知のことと思います。この意味で、仕事の第一線に立つ皆さんは、常に学び続けていくことが重要です。皆さんの最大の強みは基盤となる知識を学んだことに加えて、その学び方を習得したことです。さらに、自分が選んだ道、与えられた役割に全力で立ち向かうことが重要で、結果はそれについてくるもの、天が決めることです。懸命に努力した後は、それがうまくいかなくても不思議に次の道が拓けてくるものです。

一方、在学中の学生諸君は、今から将来の目標や夢を持って欲しいと思います。まだ何を目標にして良いかわからない諸君もいると思いますが、その場合はそれが見つかるまでまず力をつけておくことです。

卒業生も在校生も、若い諸君はまだ失うものはない、これこそが強みです。信じる道を精一杯生きることの喜びを是非味わってほしいと思います。そして、皆さんに素晴らしい未来が開かれることを心から祈っております。

新任教員紹介

総合科学系文科 准教授 徳竹 亜紀子



今年度から総合科学系文科の教員に着任いたしました。東北大学大学院文学研究科に助教として勤めた後、昨年までの三年間を非常勤講師として本校にお世話になりました。

専門分野は日本古代史で、特に奈良時代の寺院造営事業の研究をおこなっています。日本に限らず、過去から現代に至るまで世界中で巨大な建造物が造られてきました。人間が衣・食・住を満たして生きていけるだけならば、必要ないほどの巨大建造物をなぜ造ろうとするのか、どうやってそれを実現したのか、そういった観点から歴史にアプローチし、国家構造や社会構造の解明を目指しています。

早いもので、着任から一年が経とうとしています。まだまだ慣れないことも多く、試行錯誤を繰り返す日々ですが、学生みなさんの充実した学校生活を少しでもサポートできるよう、精一杯努力していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

総合科学系理数科 准教授 佐藤 徹雄



4月1日付けで総合科学系理数科に着任いたしました佐藤徹雄です。専門は遷移金属錯体を用いた新規触媒反応や機能性材料の開発であり、担当科目は主に基礎化学です。これまで、秋田高専と東北大学で6年間ずつ教員として勤務してまいりました。

名取キャンパスの良さのひとつは、工学を学ぶうえで申し分のない環境にあると感じます。名取駅を出るとすぐに工場が並び、商業地と住宅地が抜けると、一転して眼前に一面の田んぼが広がります。名取キャンパスはその先の小高い山の上に見え、山を登ったキャンパスの校舎の上階からは遠く仙台の街並みも一望でき、周囲の田んぼと山の木々は四季の移ろいと人間の営みを伝えてきます。キャンパスを取り巻く環境はまさに日本の縮図といえます。このような情景は、工学の基礎とともに学生の記憶に静かに留まり、いつの日かそれが生きてくるのではなかろうかと思えます。

そして、赴任して大変感心したことは、個々の学生の持つ知的好奇心の高さと素直さ、そして学生の自主性の高さです。

優れた学習環境のもと、教員としての教育・研究の実力が試される教育現場で、日々、教育・研究の両面で自己研鑽に励み、学生と向き合っていきたいと思っています。

機械システム工学科 助教 奥村 真彦



2015年4月から、名取キャンパス機械システム工学科で助教を務めております。私は2015年3月まで学生でしたから、自分が「教わる」立場から「教える」立場に代わって、まだ1年も経っておりません。まだまだ「教える」立場には慣れませんが、学生に信頼してもらうこと、少しでも多くの知識を学生に吸収してもらうことを目指して、日々努力しております。

自分の知識をかみ砕いて人に伝え、理解してもらうことが好きな一方で、研究者としての立場も続けていたいと考え、この学校の教員になりました。宮城には、大学入学を機に富山から引っ越し、10年以上生活しています。宮城の居心地が良いことも、この学校を選んだ動機です。学生を教える機会はもちろん、研究のための資源も与えていただき、この学校には感謝しています。

私は公立高校の出身で、この学校に就職して初めて、高専の雰囲気を知りました。ひたすら受験に向けた勉強と部活に明け暮れた自分の高校生活と比べて、高専の学生はずっと伸び伸びと、枠に囚われることなく過ごしているように見えます。彼ら学生が、卒業後にその自由奔放さを良い形で発揮し、社会で活躍できるよう、微力ながら彼らの成長を支えていく所存です。

マテリアル環境工学科 助教 松原 正樹



今年度からマテリアル環境工学科に着任いたしました松原正樹と申します。東北大学を卒業後、昨年までは北海道大学で研究員をしていましたが、実は増田西小学校、名取第二中学校の出身でかなりの地元っ子です。宮城高専卒業ではないので、そこが少し悔やまれます。

私の専門分野は、有機無機ハイブリッド材料です。有機材料と無機材料は相反する性質を持っていますが、それぞれのメリットを組み合わせ、デメリットを相補するだけでなく相乗効果により全く新しい機能を生み出すべく研究をしています。材料開発だけでなく、人と人との繋がりという面でも他人の良いところを引き出し、協力してより良いものを創り上げられるようになれば良いと思っています。

仙台高専に入って最初に驚いたことは、学生さんがすごく活があるということです。オープンキャンパスや高専祭の準備でも積極的な学生が多く、授業や課外活動のたびに元気な学生さんからパワーをもらっている気がします。

早いもので、着任してからもう1年が経とうとしており、高専での仕事や生活にもだいぶ慣れてきましたが、年度が変わっても新任の気持ちを持ち忘れずに学生の皆さんの力になれるよう、日々精進したいと思います。

建築デザイン学科 助教 吉野 裕貴



今年度、4月より建築デザイン学科に着任いたしました吉野です。出身は長野県、長崎大学を経て、東北大学大学院の博士課程を修了しました。専門は建築構造学であり、建築三分野(意匠、環境、構造)のうち、構造分野について研究を行っております。

主な研究内容はドームや体育館などの大空間構造物を対象に、構造計算をする際に考慮されていない「非構造部材」が建物の座屈挙動に及ぼす影響を明らかにすることです。現時点での最終目標は非構造部材のように設計時に考慮していないファクターを取り入れた設計式を提案することで、より正確な設計法の確立を目指します。

学生から教育現場への参入は不安との葛藤でした。その中、学科の諸先生方の助けを頂き、授業と研究の両立した日々を送っております。

研究室では、座屈現象の実験による再現や、構造力学を応用した耐力式を算出、研究対象である空間構造物の見学などのフィールドワークを行っています。

広瀬キャンパスのみなさんは会う機会が少ないですが、会った際は気軽に声をかけてください。名取キャンパスのみなさんは接する機会が多いと思います。特に建築学科の学生は授業を担当しており、日々刺激を受けています。

やる気のある生徒を伸ばす授業を目指して頑張りたいと思っており、学生のために情報を与えていけたらと思っています。

精一杯頑張りますので、どうか吉野をよろしくお願いいたします。

高専間人事交流教員より

マテリアル環境工学科 教授 石井 宏幸



高専全体の教育力の向上を図るため平成18年度から始まった教員の高専間交流によって、八王子市にある東京高専物質工学科から異動し、マテリアル環境工学科において平成27年度1年間お世話になりました。

具体的にはマテリアル環境工学科の授業、演習、実験及び、野球部顧問を通じて、学校運営並びにアクティブラーニング(AL)の観点から研修しました。特に、4、5年生が1年生を教える協学実習(典型的なAL)などと各研究室での郷中教育(薩摩藩)とが組み合わせあった技術者育成に仙台高専の良さを感じました。しかも、地元文化に根付いた人間性を学生に育まれているように思えました。昨年8月の高専フォーラム出席、昨秋の東北地区高専野球交流戦での優勝、今年9月仙台高専主催のISATE2016への参加予定、マテリアル工学グループ(北川先生、佐藤友章先生)による共同研究など、私の交流は終わりでなく始まりました。

東京出張の際には、高専機構の隣にある東京高専へ気軽にお立ち寄り下さい。1年間お世話になりました。重ねて厚く御礼申し上げます。

進路指導と進路実績について 名取

平成27年度卒業・修了生の進路について

名取キャンパスキャリア支援室 室長 浅田 格

名取キャンパスでは、今年度は823社の企業から求人があり、就職を希望した学生全員が就職先を決定しています。本科では91名、専攻科では31名の学生が就職します。進学については、本科から43名の学生が専攻科へ進学し、また17名が大学3年生へ編入学します。専攻科からは14名が大学院へ進学します。

毎年、進路に関する学生向け資料として「就職・進学のためのガイドブック」を配布していて、卒業生の進路先だけでなく、先輩の体験記や後輩への助言、進路書類の記載方法などがまとめられています。この資料をもとに、4学年には11月に「進路ガイダンス」を開催して進路指導を行っています。企業に関する情報提供の場として、12月に宮城県と連携した地元企業への「ものづくり企業見学会」、1月に「高専OBによる業界研究セミナー」を実施しました。6月には女子学生向けに「メイクアップ講座」を設け、インターンシップや就職活動に役立てています。また学科毎に、3学年研修、全学年行事や低学年へのキャリア指導を実施しています。学外では、東北地区高専生向けの「合同企業説明会」に多数の学生が参加しています。

将来への夢実現に向けて、早期に目標を立てて学習へと繋げてほしいと考えています。

本年度の5年生は、59%が就職、41%が進学しています。

進学状況 (平成27年度)

大学編入学等状況

北海道大学…1名、東北大学…1名、茨城大学…1名、千葉大学…1名、東京農工大学…1名、横浜国立大学…1名、信州大学…1名、豊橋技術科学大学…5(1)名、京都工芸繊維大学…1名、神戸大学…1名、東北学院大学…1名、宮城学院女子大学…1(1)名、前橋工科大学…1(1)名、仙台高専専攻科…43(9)名

合計…60(12)名 ※()は内数で女子

大学院進学状況 (専攻科)

東北大学大学院…10名、豊橋技術科学大学大学院…1名、北陸先端科学技術大学院大学…3名

合計…14名

就職状況 (平成27年度)

産業別就職状況

製造業…57(11)名、建設業…26(4)名、電気・ガス・熱・水道業…10(1)名、技術サービス業…11(3)名、情報通信業…7(3)名、運輸業…3名、卸売・小売業…2(2)名、公務員…5(1)名、その他…1(1)名

合計…122(26)名 ※()は内数で女子

学生ひとり当たり15倍の求人倍率 (就職希望者数に対して)

平成27年度 卒業・修了者数 198名

就職 100%

進学 98%

専攻科 73%

大学 27%

就職先一覧 (平成27年度)

準学士課程

旭化成、アトマックス、ANAラインメンテナンステクノクス、いすゞエンジニアリング、出光興産、エイアンドティー、江川工芸社、NOK、NTT-ME、NTTファシリティーズ、荏原製作所、MCフードスペシャリティーズ、MBM、オリエンタルモーター、カネボウ化粧品販売、カンセツ、北里第一三共ワクチン、キャノン、きんでん、コスモシステム、小松製作所、五洋建設、サッポロビール、サントリースピリッツ、C&A、JXエンジニアリング、JX日鉱日石エネルギー中央研究所、資生堂、ジャステックス、スガサワ、千住金属工業、大東建託、大日本土木、高砂熱化学工業、田中貴金属グループ、中央エンジニアリング、中外製薬工業、中部電力、通研電気工業、テクノプロ、東栄住宅、東海旅客鉄道、東京ガス、東京電力、東新工業、東燃ゼネラル石油、東北電力、東北発電工業、東洋インキSCホールディングス、戸田建設、トノックス、ニコフ、日産アーク、西松建設、日進工具、日本色材研究所、日本たばこ産業、日本ファインセラミックス、ネクスコ・エンジニアリング東北、東日本旅客鉄道、日立アプライアンス、日立交通テクノロジー、日立パワーシステムズ、フィリップス、富士ゼロックス、富士テクノサービス、フジテック、三浦工業、三菱重工、ヤクルト、ライズシティ、宮城県、仙台市役所、東北大学施設部、他

専攻科

IHI検査計測、アウトソーシングテクノロジー、アネスト岩田、アルプス電気、エイアンドティー、NECフィールディング、NOK、NTT-ME、大林組、川崎重工、コスモシステム、大日本印刷、東洋製版、日特エンジニアリング、日本精工、パイオニアシステムテクノロジー、富士通システムズイースト、ヤマトシステム開発、ルクレ、警視庁、宮城県、他

進路指導と進路実績について 広瀬

平成27年度卒業・修了生の進路について

広瀬キャンパスキャリア支援室 室長 菅谷 純一

平成27年度の広瀬キャンパスの本科は114名で、59名が就職、50名が進学しました（その他5名）。専攻科は29名で、15名が就職、13名が進学でした（その他1名）。広瀬キャンパスへの求人企業数は最終的には534社であり、平成26年度の512社より微増となりました。

広瀬キャンパスキャリア支援室では、2月に「コミュニケーション力アップ講座」と「模擬面接講座」を、6月には「面接対策講座」を開催するなど、合格率の向上に努めました。また、東北地区高専生向けのメディア総研と学研メディコン主催による「合同企業説明会」が3月と5月に仙台市内でそれぞれ開催され、多数の学生が出席しました。今年度は経団連所属企業の就活開始日が8月1日になるなど、就職における社会状況が変化する中で、変化に対応し、学生に対して十分な自己分析及び企業研究を指導すると共に、学生自らも積極的に就職活動を行いました。

そのため、今年度も昨年同様、世の中の景気が良好だったことも手伝って、ほぼ良い結果で推移し、本科及び専攻科の進路が決定しました。

本年度の5年生は、54%が就職、46%が進学しています。

進学状況 (平成27年度)

大学編入学等状況

東北大学…1(1)名、筑波大学…1(1)名、宇都宮大学…2(1)名、千葉大学…3名、電気通信大学…1名、横浜国立大学…1名、長岡技術科学大学…6名、豊橋技術科学大学…2名、九州大学…1名、仙台高専専攻科…32(1)名

合計…50(4)名 ※()は内数で女子

大学院進学状況 (専攻科)

東北大学大学院…6名、筑波大学大学院…1名、東京工業大学大学院…1名、電気通信大学大学院…1名、北陸先端科学技術大学院大学…2名、奈良先端科学技術大学院大学…2名

合計…13名

就職状況 (平成27年度)

産業別就職状況

製造業…12(2)名、電気・ガス・熱・水道業…3(1)名、情報通信業…19(5)名、技術サービス業…23(3)名、その他…1名、公務員…1(1)名

合計…59(12)名 ※()は内数で女子

就職先一覧 (平成27年度)

準学士課程

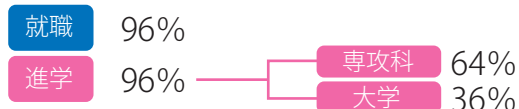
アイシン・コムクルーズ、会津オリンパス、旭化成、NOK、NHKメディアテクノロジー、NTT-ME、NTTコム ソリューションズ & エンジニアリング、オールアバウト、花王、京セラコミュニケーションシステム、グローリー、ケアリッツ・アンド・パートナーズ、KSF、KDDIエンジニアリング、コナミデジタルエンタテインメント、サントリープロダクツ、CTCシステムマネジメント、JR東日本、ジェイベック、ジュピターテレコム、ステップ、SPEEE、セイコーエプソン、ソニーイーエムシーエス、ダイキン工業、DeNA、TTK、TBSテックス、デザインネットワーク、テルモ、電源開発、東京ガス、東京電力、東北電力、登米村田製作所、ドリーム・アーツ、日本コムシス、日本たばこ産業、日本テクシード、ハイマックス、パワーソリューションズ、日立システムズ、日立ビルシステム、ビッツ、富士重工業、富士通エフサス、富士通マーケティング、本田技研工業、ミツミ電機、ミライト、リンク情報システム、国家公務員(税務)

専攻科

イワタニ東北、NHK、NHKアイテック、NTTコムウェア、開発電子技術、コスモリサーチ、Korg、中央製作所、富士通、フジテック、三菱電機プラントエンジニアリング、三菱電機ビルテクノサービス、ヤマハ発動機、大郷町役場、国家公務員(公安調査庁)

学生ひとり当たり13倍の求人倍率 (就職希望者数に対して)

平成27年度 卒業・修了者数 137名



高専体育大会結果について

名 取



～祝 大会3連覇
ラグビーフットボール全国大会
13度目の優勝!～



■第52回東北地区高専体育大会一関大会

陸 上	(男子) 110mH	加藤 丈博(PA5)	第2位	全国大会出場
	(男子) 110mH	菅谷 駿(PE3)	第3位	全国大会出場
	(女子) 4×100mリレー	茂木 みさき(PA2)・安田 志帆海(PS3) 横山 瑞子(PA2)・佐藤 愛理奈(PA3)	第3位	
バスケットボール	(男子)		優勝	全国大会出場
	(女子)		第2位	
卓 球	(男子) ダブルス	大野 孝起(PM4) 平野 玄(PA2)	第3位	
剣 道	(男子) 団体戦		優勝	全国大会出場
	(男子) 個人戦	松崎 翔(PE5)	優勝	全国大会出場
ハンドボール			第3位	
テニス	(男子) 団体戦		第3位	
	(女子) 団体戦		第3位	
	(男子) 団体戦		第3位	
バドミントン	(男子) ダブルス	中村 直樹(PS5) 山本 直樹(PM5)	第2位	全国大会出場
	(男子) ダブルス	館内 弘樹(PE5) 二宮 虎二郎(PE5)	第3位	
	(男子) ダブルス	永井 誠人(PA3) 小野 皓平(PS1)	第3位	
	(女子) 団体戦		第3位	
			第3位	

■第52回東北地区高専体育大会宮城大会

バレーボール	(男子)		第2位	
ソフトテニス	(男子) ダブルス	中島 航平(PA2) 佐藤 章二朗(PM3)	第2位	全国大会出場
柔 道	(男子) 団体戦		優勝	全国大会出場
	(男子) 60kg級	浜畑 翔(PE5)	優勝	全国大会出場
	(男子) 73kg級	鹿野 晃弘(PE3)	優勝	全国大会出場
	(男子) 73kg級	齋藤 祥(PM3)	第2位	全国大会出場
	(男子) 90kg級	高桑 侑也(PE5)	優勝	全国大会出場
サッカー	(男子) 90kg級	湯村 達也(PM5)	第2位	全国大会出場
ラグビーフットボール			第3位	
水 泳	(男子) 自由形50m	速水 伸幸(PM2)	優勝	全国大会出場
	(男子) 自由形100m	速水 伸幸(PM2)	優勝	全国大会出場
	(男子) 自由形100m	日下 泰志(PM4)	第3位	全国大会出場
	(男子) 自由形200m	隼石 諒太郎(PE1)	第3位	全国大会出場
	(男子) バタフライ100m	小原 雅輝(PE3)	第3位	全国大会出場
	(男子) バタフライ200m	小原 雅輝(PE3)	第2位	全国大会出場
	(男子) リレー400m	速水 伸幸(PM2)・小原 雅輝(PE3) 隼石 諒太郎(PE1)・日下 泰志(PM4)	第3位	
	(男子) メドレーリレー400m	速水 伸幸(PM2)・庄司 友貴(PA3) 小原 雅輝(PE3)・隼石 諒太郎(PE1)	第3位	
	(女子) 学校対抗		第2位	
	(女子) 自由形100m	千田 ひかる(PA1)	優勝	全国大会出場
	(女子) 背泳ぎ50m	千田 ひかる(PA1)	優勝	全国大会出場
	(女子) 背泳ぎ50m	中嶋 詩織(PS2)	第2位	全国大会出場
	(女子) 背泳ぎ100m	白石 真子(PS5)	第2位	全国大会出場
	(女子) 平泳ぎ100m	中嶋 詩織(PS2)	第2位	全国大会出場
	(女子) リレー200m	千田 ひかる(PA1)・中嶋 詩織(PS2) 加藤 美鈴(PA1)・佐藤 真鈴(PS1)	第2位	全国大会出場
	(女子) リレー400m	千田 ひかる(PA1)・中嶋 詩織(PS2) 加藤 美鈴(PA1)・佐藤 真鈴(PS1)	優勝	

■第50回全国高専体育大会

陸 上	(男子) 110mハードル	加藤 丈博(PA5)	予選敗退	
	(男子) 110mハードル	菅谷 駿(PE3)	予選敗退	
バスケットボール	(男子)		予選リーグ敗退	
剣 道	(男子) 団体戦		2回戦敗退	
	(男子) 個人戦	松崎 翔(PE5)	第3位	
水 泳	(男子) 自由形50m	速水 伸幸(PM2)	第3位	
	(男子) 自由形100m	速水 伸幸(PM2)		
	(男子) 自由形100m	日下 泰志(PM4)		
	(男子) 自由形200m	隼石 諒太郎(PE1)		
	(男子) バタフライ100m	小原 雅輝(PE3)		
	(男子) バタフライ200m	小原 雅輝(PE3)		
	(女子) 自由形100m	千田 ひかる(PA1)		
	(女子) 背泳ぎ50m	千田 ひかる(PA1)	第3位	
	(女子) 背泳ぎ50m	中嶋 詩織(PS2)		
	(女子) 背泳ぎ100m	白石 真子(PS5)		
バドミントン	(男子) 自由形100m	中嶋 詩織(PS2)		
	(男子) 自由形200m	千田 ひかる(PA1)・中嶋 詩織(PS2) 加藤 美鈴(PA1)・佐藤 真鈴(PS1)		
	(男子) ダブルス	中村 直樹(PS5)	初戦敗退	
	(男子) 団体戦	山本 直樹(PM5)		
	(男子) 60kg級		第3位	
柔 道	(男子) 73kg級	浜畑 翔(PE5)	2回戦敗退	
	(男子) 73kg級	鹿野 晃弘(PE3)	2回戦敗退	
	(男子) 90kg級	齋藤 祥(PM3)	第3位	
	(男子) 90kg級	高桑 侑也(PE5)	第3位	
	(男子) 90kg級	湯村 達也(PM5)	1回戦敗退	
ラグビーフットボール			全国優勝	

高専体育大会

7月3日(金)から5日(日)まで(ラグビー競技は10月16日(金)から20日(火)まで)、一関高専と仙台高専(名取)が主管校となり、第52回東北地区高等専門学校体育大会が開催されました。

また、8月中旬から8月下旬(ラグビー競技は1月4日～)にかけて九州・沖縄地区が担当となり、第50回全国高等専門学校体育大会が開催され、名取キャンパスからは陸上・バスケットボール・剣道・水泳・バドミントン・柔道・ラグビーフットボール競技が、広瀬キャンパスからは陸上・剣道競技が出場しました。その中でも特に、名取キャンパスのラグビーフットボール競技は、3年連続13回目の全国優勝となる快挙を成し遂げました。

各競技の大会結果は次のとおりです。【注：地区大会は上位入賞(3位以上)のみ掲載】

■第52回東北地区高専体育大会一関大会

陸 上	(女子)学校対抗		第3位
	(女子)100m	大村 さやか(IN4)	第1位 全国大会出場
	(女子)100mハードル	安田 波輝(IE3)	第2位
	(女子)走幅跳	大村 さやか(IN4)	第1位 全国大会出場
	//	岩城 未紅(IS1)	第3位 全国大会出場
	(女子)4×100mリレー	今野 萌衣(IE4)・大村 さやか(IN4) 安田 波輝(IE3)・岩城 未紅(IS1)	第1位
卓 球	卓球(男子)団体戦		第3位
剣 道	剣道(男子)団体戦		第2位 全国大会出場
	剣道(女子)団体戦		第3位
	剣道(男子)個人戦	佐藤 雅(IN5) 柿崎 一崇(IE5)	第3位 全国大会出場 第4位 全国大会出場
ハンドボール	ハンドボール		第3位



■第52回東北地区高専体育大会宮城大会

ソフトテニス	ソフトテニス(女子)個人戦ダブルス	岩月 理羽(IN5)・井上野々花(IE3)	第3位
--------	-------------------	-----------------------	-----



■第50回全国高専体育大会

陸 上	(女子)学校対抗		第4位
	(女子)100m	大村 さやか(IN4)	第3位
	(女子)200m	大村 さやか(IN4)	第2位
	(女子)4×100mリレー	今野 萌衣(IE4)・大村 さやか(IN4) 安田 波輝(IE3)・岩城 未紅(IS1)	第5位
	(女子)100mハードル	安田 波輝(IE3)	第5位
	(女子)走幅跳	大村 さやか(IN4)	第2位
剣 道	//	岩城 未紅(IS1)	第12位
	剣道(男子)団体戦		1回戦敗退
	剣道(男子)個人戦	佐藤 雅(IN5) 柿崎 一崇(IE5)	1回戦敗退 1回戦敗退



学生の活動状況について

IEEE中南米ロボットコンテスト ヒューマノイドロボットレーシング部門 優勝!

電気システム工学科5年 小野 真 / 電気システム工学科5年 館内 弘樹

「まじ、ブラジル?おれたちっすか? は、はい行きます!」二つ返事で、私たちは地球の裏側でロボコンに出場してきました。私たちにはロボコンの経験はありませんでしたが、高专に入学して以来このようなチャンスを待ち望んでいました。ブラジルで毎年行われるこのロボコンは開放的な雰囲気と、小学生から大学生までが参加できる多彩なプログラムが魅力です。レゴブロックでつくるロボットから、迷路探索ロボ、サッカー、生活支援ロボット、レスキューロボなど。そしてひときわ目も耳も引くロボットダンシング。軽快な音楽とリズムカルな動きで会場全体のブラジリアンな雰囲気を盛り上げていました。今回は、このロボコンに出場するチームを外務省が初めて公募し、日本からは熊本高专と私達が出場しました。

さて、私たちの出場したヒューマノイドロボットレーシングという競技。これは、人型ロボットによる4メートル競争です。とてもシンプルルールなのですが、人が簡単にやっている二足歩行がいかに難しいかを思い知ることになりました。準備期間は2カ月しかありませんでしたが、私たちは歩行安定化プログラム、直進制御などにチャレンジし、大会記録であった15秒を半分以下に縮めた7秒の記録で優勝することができました。この記録に現地のみんなも驚きそしてブラジル流に称賛してくれました。地球の裏側まで行ってきたということ以上に、他国のチームにも惜しみなく声援をくれる南米人の気質を感じ、なによりもロボットを作り国際的なコンテストに参加するというプロセスの中で、こんなに多くのが学べ、こんなに自分たちが成長できるのかということを実感しました。

(参考) Latin American and Brazilian Robotics Competition 2015
Uberlandia convention center, Uberlandia - Brasil 10/28 - 11/1, 2015
<http://www.cbrobotica.org/>



優勝トロフィーとともに



本番前の綿密な調整中



コンテスト会場にて
(左:館内さん、右:小野さん)

専攻科2年生が「学術奨励賞(内山賞)」を受賞しました

平成27年年9月9日(水)、名古屋大学東山キャンパスにて開催された第39回日本磁気学会学術講演会表彰式において、専攻科生産システムデザイン工学専攻生産システム工学コース2年生の楠洸介君が「学術奨励賞(内山賞)」を受賞しました。この賞は、35歳以下の研究者で、表彰を受ける前年度の講演会で優秀な内容の講演を行った登壇者であり、その講演に関する原著論文が、表彰を受ける年度の5月までに発行された日本磁気学会誌に掲載され、筆頭著者が登壇者であること、が条件となっております。

大学院博士後期課程の学生や、大学若手教員、企業若手研究員が受賞する中で、高专生が受賞することはとても栄誉なことです。

楠君は来年度、東北大学大学院工学研究科へ進学する予定であり、更なる活躍が期待されます。さらに楠君は、平成27年3月の電気学会全国大会で発表した内容が認められ「優秀論文発表賞」を受賞し、平成28年3月16日の電気学会全国大会にても表彰予定です。



表彰式



表彰式後の楠君

第7回高专祭が開催されました

10月31日(土)、11月1日(日)の2日間にわたり、名取・広瀬両キャンパスで第7回高专祭が開催されました。

名取キャンパスは『おいでよ、野田山』、広瀬キャンパスは『〜目を凝らして見てみよう そこに答えがある〜』をテーマとして、各キャンパスで様々な趣向を凝らした企画を実施しました。また、高专祭は「第2回オープンキャンパス」と位置付けられ、各学科ブースでは学科での教育・研究内容の詳しい説明が行われました。

名取キャンパスでは、総合科学教育棟で文化部や愛好会の出展、専門棟で学科展示をし、中庭ではクラスが軽食などを出店、特設ステージで各種イベントを開催しました。茶道部のお茶会、吹奏楽部のミニコンサート、ドイツ提携校への訪問報告、学科展示ではミニ実験やペーパークラフトなど工夫を凝らした企画を行い、多数のお客様を迎えていました。ステージでは、芸術鑑賞を兼ねて開催した和太鼓名取市雷神会による太鼓と三味線の演奏、吹奏楽部や軽音楽部のコンサート、カラオケ大会、地元団体によるチアリーディングなどを開催しました。

広瀬キャンパスでは、体育館で吹奏楽部や箏曲部の演奏、カラオケ大会、ミスキャンパスコンテスト、ゲーム大会、教員によるパネルディスカッション、アームレスリング大会、バンド演奏等を行いました。また、福島県から泉原太鼓保存会、柳田龍神太鼓をお招きし、太鼓演奏を披露していたり、近隣小・中学校の作品展示・ステージ発表や広瀬図書館と本校図書館のコラボ企画としての「古本市」を開催したりするなど、地域の方々のご協力も得ることができました。11月5日(木)夕方には夜後祭として、プロジェクションマッピングの上映も行われました。

入場者は両キャンパスを合わせて、2日間で約3,700名となりました。たくさんの皆様にご来場いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。



高专祭の様子

学生の活動状況について

エコラン[2015 World Electric Vehicle Challenge in SUGO]について

知能エレクトロニクス工学科5年 遠藤 優磨

夏といえばエコラン、どうしたら優勝できるか—2年間もつばらそばり考えているような気がします。

スポーツランドSUGOの国際レーシングコースで開催されるこのエコランは、昨年で21回目となりました。仙台高専も共催しています。

私の所属する研究室ではエコラン史上初となる、4輪全てにモータを配した総輪駆動車の開発を行っています。実現は難しく、一昨年は出走できずに終わりました。昨年の大会で初周回を達成した時は、その姿を追わんと息が切れるのも忘れて走り回りました。

我々の他にも、女子チームや中学生を対象とした製作教室チーム等、それぞれが趣向を凝らした車両を自作して参加しています。

このようにエコランへ毎年多くの学生が参加できるのも、ご父兄の皆様、そして先生方の多大なご支援、ご協力のもとに成り立っているのだと切に感じています。

未来の産業界をけん引する人材育成の場として、今後もこの取り組みが末永く続くことを願っています。



ビット作業



走行中

パソコン甲子園本選に出場、予選では1年生が新人賞を受賞しました

11月7日(土)・8日(日)に会津大学で開催されたパソコン甲子園2015本選プログラミング部門に、本校広瀬キャンパスから情報システム工学科3年の山野優真君・相沢幸翼君のチーム「CEO-S」が出場し、9月12日(土)に行われた全国の高校・高専625チームによる予選を勝ち抜いた24チーム中、第16位の成績を収めました。

プログラミング部門は、与えられた問題を制限時間内にどれだけ解答することができるかを競う競技プログラミングで、全国レベルの大会に出場でき、よい経験となりました。

また、予選には、広瀬キャンパスから10チーム20名、名取キャンパスから1チーム2名が参加し、広瀬キャンパス情報システム工学科の相原翼君・高橋唯君の1年生チーム「太陽系外縁天体」が新人賞を受賞しました。

パソコン甲子園は高専3年生まで出場できますので、来年度も多くの参加と好成績を期待しています。パソコン甲子園の詳細は、<http://web-ext.u-aizu.ac.jp/pc-concours/>に掲載されています。

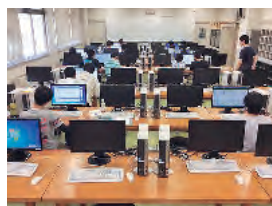
今年度も後援会から本選に出場した学生及び指導教員に多大なご支援をいただきましたことに感謝を申し上げます。



本選の様子



山野優真君・相沢幸翼君のチーム「CEO-S」



予選の様子



新人賞の賞状



相原翼君・高橋唯君の1年生チーム「太陽系外縁天体」

地区高専英語スピーチコンテストで優勝、全国大会出場

10月3日(土)に福島高専を会場として「第9回東北地区高等専門学校英語スピーチコンテスト」が開催され、本校からは吉成末菜里さん(情報システム工学科5年)と高橋優元さん(生産システムデザイン工学専攻2年)が出場しました。コンテストには東北地区の高専から7人が参加し、様々なテーマでスピーチを行いました。本校の2人のスピーチのタイトルは以下のとおりです。

吉成末菜里さん: "Serendipity: the gift of finding valuable things not looked for"

高橋 優元さん: "Mission"

2人とも練習の成果を発揮し、説得力のあるスピーチを披露することができ、日本人とネイティブスピーカーの2名の審査員による審査の結果、吉成さんが優勝しました。

その後、吉成さんは1月23日(土)・24日(日)に国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた「第9回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト」に東北地区代表の一人として出場しました。残念ながら全国大会での入賞は逃したものの、一昨年に続く二度目の全国大会出場で、英語面でも、表現力の面でも堂々とした素晴らしいスピーチでした。

全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト(プレコン)は、全国の英語の得意な高専生たちが競い合う舞台で、今年で9回目を迎えました。広瀬キャンパスからは4年連続での出場となります。一つの伝統となつておりますので、後輩の皆さんにもぜひ積極的に全国大会を目指してほしいと思います。



吉成さん



高橋さん



東北大会参加者記念撮影



全国大会での吉成さん

卒業生・修了生の研究題目一覧

機械システム工学科

学生氏名	研究題目
青木 研太	小型移動体の性能向上に関する基礎研究
明日香 鴻	小型移動体の性能向上に関する基礎研究
有路 康平	羽ばたきMAVの試作と羽ばたき流れの観察
飯澤 比呂	野球ボールの空力特性の実験計測
伊藤 克美	旋盤における切削条件と表面性状の関係
岩間 遥香	Sweep Frequency Impedance (SFI) meterを用いた高周波数域における中耳動特性
及川 泰史	3Dプリンタ成形品の機械的特性
大泉 裕男	人間の後方からの歩行動作に注目した個人認証
小川 裕也	背景差分法を用いた夜間時における車両感知システム
小野 真杜	高温短形差表面と液滴との衝突後の液滴移動速度計測
小野寺 理玖	プレゼンテーション補助ツールにおけるキャリブレーション機能の改善
桂島 僚一	微粒子噴射による矩形溝形成技術の開発
菅野 航	一人暮らし高齢者の異常行動検出
菊地 航平	Vortex Ring Project (フィンランド長期インターンシップ報告)
栗原 洋平	小型移動体の性能向上に関する基礎研究
齋藤 柊太	アルミ溶接の強度試験及び自動車のフレーム製作について
齋藤 修平	竜巻状流れ場の可視化実験
佐々木 元騎	省燃費競技車の車体構造に関する検討
佐藤 みふゆ	有限要素法新生児外耳・中耳モデルを用いた耳疾患シミュレーション
佐藤 優友	顔の等高線情報を利用した個人認証システムの提案
関本 大志	省燃費競技車の車体構造に関する検討
高橋 湊希	回転する球に働くマグナス力の測定
高橋 麗音	回転する球に働くマグナス力の測定
寺内 佑太	球技フォーメーションシミュレータのための入力データの補正
中村 文哉	3Dプリンタ成形品の機械的特性
西牧 真	アルミ溶接の強度試験及び自動車のフレーム製作について
長谷川 修平	応力解析による軽量な自動車用ハブ形状の探索
早坂 俊希	熱応力解析によるブレーキディスクの円孔配置最適化
益山 太希	小型ガソリン機関の廃熱利用に関する基礎研究
武藤 汐里	模型を用いた室の音響分析と改善の検討
山田 怜音	重力場中で層流噴流が描く軌道の解析
山本 直樹	微粒子噴射による等量噴射技術の開発
湯村 達也	重力場中で層流噴流が描く軌道の解析
横山 輝	小型ガソリン機関の廃熱利用に関する基礎研究
吉野 晃矢	アルミ溶接の強度試験及び自動車のフレーム製作について
我妻 佑哉	3Dプリンタ成形品の機械的特性
渡邊 卯	視刺激パターンによる視覚誘発電位(VEP)への影響

電気システム工学科

学生氏名	研究題目
相澤 夕希	ヘッドフォンの周波数特性による聴き疲れへの影響
相沢 廉	磁石を用いた振動発電の基礎検討
阿部 聖	方形波を用いた非接触充電式心臓ペースメーカー用充電器の研究
伊藤 巨輝	パーソナルモビリティ用モータの研究
伊藤 大智	倒立振子の設計 ハードウェア編
遠藤 健太	MATLABによるサーボ系シミュレーション
遠藤 力	移動体への非接触給電に関する研究
大沼 徹	視覚障害者のための歩行者用信号灯色判別手法の開発
尾形 理央	太陽光発電を用いた飛翔体に関する研究
長内 史也	ピコ水力発電システムの研究～らせん水車の流量依存性～
小野 真	HOG特徴量とSVMを用いた歩行者用信号検出器の検出精度向上
小野 大輔	WO ₃ におけるOのF,H部分置換による超伝導化の試み
加藤 大樹	電気二重層キャパシタの急速充電に関する研究
加藤 立太	矩形波による非接触電力伝送特性の考察
川井 俊樹	家庭用電源を用いた50 Hzワイヤレス電力伝送の研究
小池 脩太	ピコ水力発電システムの研究～らせん水車羽根数依存性～
後藤 淳治	クロマベクトルと音楽理論に基づく和音進行認識法の提案
今野 文弥	ドローンの障害物回避プログラムの開発
佐藤 颯太郎	自動推進機構を有する超伝導浮上型リアモーターカーの開発 - 回路の設計と制作 -
佐藤 拓人	逆磁歪効果を用いた機能磁気デバイスの基礎検討
佐藤 匠	自動推進機構を有する超伝導浮上型リアモーターカーの開発 - 推進機構の製作 -
部 祥汰	パイモルフ圧電素子を用いた矩形溝型積層キャパシタ形成技術の開発
高桑 侑也	InGa _N 系紫外LEDの発光スペクトルの温度依存性とZnO・ZnSO ₄ 薄膜の発光スペクトル
高田 佑耶	RFスパッタ法によるZnOxS _{1-x} を用いた半導体薄膜の作製
高橋 明仁	液晶波長可変フィルタ用光学素子における測定系の高精度化に関する研究
館内 弘樹	スピーカースystem構築のための低音域特性改善手法の考案
丹野 光	ドローンを操作するプログラムの作成
富樫 凌	音空間再現システム開発の基礎検討
鳥山 歩夢	Zn系II-VI族化合物半導体における電気的特性の温度依存性
西塚 悠羽	ホームシアターにおけるハイトスピーカの効果に関する実験的検討
二宮 虎次郎	不可視情報の光学的識別機構に関する研究～色情報に対応した基準算出システムの機構～
橋浦 拓	BiOClのS置換による超伝導化の試み
羽根田 浩希	RFスパッタ法によるZn(S,O)半導体薄膜の作製
濱野 公輔	ギターの信号の可視化に関する研究
浜畑 翔	不可視情報の光学的識別機構におけるガンマ補正の効果に関する研究
藤本 隆弥	再構成可能なネットワーク実験システムにおける経路情報設定の自動化
星 譲	低周波大気圧プラズマジェットにおける流れ場の影響
本田 光平	高品位分光イメージング用液晶波長可変フィルタの特性向上に関する研究～分光光度計を用いた微小位相差の高精度測定基盤確立～
松崎 翔	低周波大気圧プラズマジェットにおける放電入力およびその散逸過程
藪田 樹	倒立振子の設計 ソフトウェア編
山本 里香	ロボットアームによるジグソウパズルの組立

卒業生・修了生の研究題目一覧

マテリアル環境工学科

学生氏名	研究題目
赤間 幹久	超音波探傷法を用いた工具鋼の熱処理評価
朝倉 芽生	Mg/CNTs 複合粉末の水素吸蔵特性に及ぼすCNTs 直径の影響
阿部 圭史	Mg (Al _(10-x) , Zn _x)Y ₁₅ 合金におけるLPSO構造のZn置換効果
天尾 夏月	Mg-(Al, Zn)-Y合金の組織におけるZn添加効果
石田 結子	メラミンからの熱分解法によるグラファイト状窒化炭素粒子合成法に関する研究
糸井 椎香	燃焼合成で作製した金属間化合物を強化材とした摺動用アルミニウム基複合材料の開発
伊藤 翔太	化学反応機構推定へのアンサンブルカルマンフィルタの応用
伊藤 愛	エッチングによる透明導電膜の膜厚制御と導電特性
岡 勇希	Mg-Al-Gd 系合金における組織の温度依存性
小川 弘人	水素アルゴン雰囲気中MA処理したMg-Fe 複合材料の水素吸蔵特性
小野寺 厚	ホウ素中性子捕捉療法のためのBenzene-Ethylene Glycol-Spermine 誘導体の合成
亀谷 栞里	GAGG:Ce 残光性蛍体の焼成
菊地 一茂	硬質粒子/MnS 複合焼結体作製におけるコンバージブル処理条件および焼結条件の検討
小関 菜摘	タンク内減圧キャビテーションによるアルミニウム合金表面の残留応力に関する研究
境 七美	Mn-Ga-Cu 合金磁石の磁気特性に及ぼすFe置換の影響
作間 春香	鉄鋼リサイクル材における極微量不純物元素の定量分析
迫中 あやめ	Fe-Ni 合金の窒化による構造および磁気特性挙動
佐々木 智也	Ni-Mn-Snマタ磁形状記憶合金の微細組織および機械的特性に及ぼすB添加の影響
佐藤 亜由夢	GSGG:Ce, Hf 残光性蛍体の焼成
佐藤 哲平	連続光源式原子吸光光度計を用いた分子吸収による微量 Cl の定量
佐藤 直樹	金属リサイクルプロセスにおける有機化合物の発生挙動に関する検討
佐藤 奈々絵	Co-Cr-Mo合金の加工後熱処理による組織と機械的特性の変化
柴田 和	リチウムイオン二次電池の金属資源価値と電池容量の関係
白石 眞子	光触媒酸化タングステン系複合微粒子の合成と光分解特性
多田 和樹	ポリカーボネートを用いたTN 型フレキシブルセルの作製と改良
千葉 直道	温度上昇したガスを対象としたLIDAR スペクトル計測
永田 翔	生体用 Co-Cr-Mo 合金の温間変形挙動に関する研究
中田 舞	Ca ₂ ZnSi ₂ O ₇ : Eu, Dy残光性蛍体の焼成
中村 直樹	Mg ₇₅ Al ₁₀ Y ₁₅ 合金中に形成する規則構造の熱的安定性
原 崇	大径丸刃の振動抑制を目指した工具鋼の力学特性に及ぼす熱処理の影響に関する研究
平岡 倫実	Co ₂ YZ(Y=Nb, Mo, Z=Ga, Al)合金の微細組織とマルテンサイト変態挙動
本田 皓	ブルー相の観察と温度制御ユニットの改良
丸屋 百花	Co ₂ NbSnホイスラー合金の相安定性とマルテンサイト変態におよぼす元素置換の影響
村上 真純	液体急冷法を用いた新規希土類遷移金属間化合物の探索
守谷 日向子	Fe-Mn-C 三元系合金の表面窒化におけるMn 量の影響
門馬 愛実	Mg 系合金の加圧水素中ミリングにおける不純物混入量変化
八鍬 奏日亜	鉄系合金グリーン体の力学的特性
山口 好美	直交選点法による半無限領域における二成分系反応・拡散の解析
横尾 知磨	エレクトロクロミック材料の合成と評価

建築デザイン学科 (卒業論文)

学生氏名	研究題目
會澤由衣佳	震災復興におけるコミュニティスペースの利用実態と成立要素ー陸前高田市リキカフェを事例としてー
芦澤 文仁	テーブルにおける行動形式の差異による対人距離の変化
五十嵐 巧	避難施設の温熱空気環境改善に関する研究
石川 峻己	ケイ酸塩系表面含浸材による混合セメントコンクリートの表層品質改善効果
伊藤 真弓	東日本大震災後の水族館に於ける避難計画に関する研究
猪股 史也	慣性質量効果を有する液流ダンパーの開発ー縮小試験体による振動台加振実験ー
岩佐 秀太	弾塑性復元力の二次勾配と降伏耐力
岩田 龍弥	直列配置した開口特性値の合成式に関する研究ー各開口前後差圧による特性値の変化を考慮した合成式の検証ー
遠藤 祐実	避難施設の温熱空気環境改善に関する研究
大宮 遥香	省エネルギーのための空調システムの最適制御に関する研究ー教育用建築物への適用についてー
奥山 達也	プルファブ内の温熱空気環境に関する研究ーその7 冷房時の室内温熱環境および表面温度に関する実測ー
小野寺 修	三項道路に面する建築物と条件ごとの外構の関係性
加藤 丈博	鉄骨置屋根構造の損傷メカニズムに与える各部材特性の影響
菊池 亜実	省エネルギーのための空調システムの最適制御に関する研究ー教育用建築物への適用についてー
木村 拓人	仙台高等専門学校総合棟の地震応答解析
草刈 魁斗	高強度・高靱性繊維補強セメント系複合材料を対象とした実大壁耐火試験用加熱電気炉の作製と検証
黒井 翔太	東北地方太平洋沖地震における記録地震動の振動台による再現
黒田瑛里佳	仙台高等総合科学教育棟を対象とした避難行動シミュレーションのアルゴリズム構築
小林 祐也	東日本大震災における宮城県内のまちづくり協議会の活動状況と課題について
齋藤 利哉	現場における換気性能簡易検定方法の開発研究ー部位別気密性能試験を応用した第三種換気システムの開口特性の測定ー
佐々木 大	土地区画整理事業における公共空間の検討プロセスー名取市閑上地区を事例としてー
猿舘尚応子	応力作用下における構造体コンクリートの耐久性に関する実験的研究
庄司 薫平	公共ホールにおける共有空間のユーザビリティに関する研究
鈴木 杏樹	特定天井を中心とした公共ホールの改修工事手法の検討
中島 祐介	中山岡地域における発災前後の地域活動拠点の利用状況と変遷についてー福島県川俣町小島ふるさと交流館を事例としてー
西浦 祐希	AHPを用いた宿泊施設の客室評価に関する検討
羽野 遼汰	室内照明における色温度とパーソナルスペースの関係性
半谷 泰成	津波浸水を想定した地下構造物の塩化物イオン浸透性状に関する実験的研究
星 祐希	学生の交通意識からみる交通手段決定の要因
本郷 卓也	鉄骨置屋根構造の損傷メカニズムに与える各部材特性の影響
松浦 翼	劣化外力に起因するコンクリートの微視的組織構造の変化に関する研究
松崎 拓馬	上下動免震に関する必要機能の分析
皆川雄太郎	プルファブ内の温熱空気環境に関する研究ーその7 冷房時の室内温熱環境および表面温度に関する実測ー
吉田 稜	直列配置した開口特性値の合成式に関する研究ー各開口前後差圧による特性値の変化を考慮した合成式の検証ー
渡辺 響介	仮設住宅の住まい方と災害公営住宅への移行プロセスー名取市閑上地区を事例としてー

卒業生・修了生の研究題目一覧

建築デザイン学科（卒業設計）

学生氏名	研究題目
會澤由衣佳	site S
芦澤 文仁	秘密基地 Place of My own
五十嵐 巧	くにたち市民図書館
石川 峻己	祝祭空間
伊藤 真弓	金ちゃん商店街
猪股 史也	Traffic line
岩佐 秀太	高齢者とシェアハウス
岩田 龍弥	new culture
遠藤 祐実	5年後
大宮 遥香	生まれ変わる荒浜
奥山 達也	城と寄りそう
小野寺 修	Third place
加藤 丈博	波と人
菊池 亜実	道
木村 拓人	Re Fish
草刈 魁斗	海を望む港市場
黒井 翔太	BASE OF SHIROISHI
黒田瑛里佳	KOORI STATION ～駅からシンボルへ～
小林 祐也	商店街を繋ぐ
齋藤 利哉	村田町 再び中心へ
佐々木 大	混成
猿舘尚応子	地域の輪
庄司 薫平	人があつまる小さな街
鈴木 杏樹	独りを1人に
中島 祐介	記憶に還る
西浦 祐希	杜の都の玄関口
羽野 遼汰	つくり場
半谷 泰成	復興を加速
星 祐希	時、歯車、人、そして社会
本郷 卓也	交わる世代
松浦 翼	公園へ繋がる木
松崎 拓馬	大河原に新たな教育体制を
皆川雄太郎	相馬出陣
吉田 稜	いわきを結ぶ2号埠頭
渡辺 響介	キッチン

生産システムデザイン工学専攻

学生氏名	研究題目
青田 昇哉	Fe-xM-0.2C (M=Cr, Al, Mo) 合金における窒化層の形成過程と構造変化
秋元 裕太	ハイブリッド車用電動部品の構成材料分析および製造時の CO ₂ 誘発量に関する検討
阿部 将典	超音波と LDV を用いた液体の温度場測定法
天野 英実	コイルサイズ制限下における非接触電力伝送システムのコイル設計
安藤 成美	廃基板類の不適正処理プロセスにおける貴金属回収に関する検討
石田 達也	不可視情報の光学的識別における認識精度向上に関する研究
石田 幹	SFI メータを用いた新生児中耳動特性の経時変化
石田 湧紀	液晶を用いた波長可変フィルタの構成要素解析による特性向上に関する研究
恵遍主 克	レーザー加工を施した銅と樹脂の接合強度に及ぼす加工形状の影響
菅野 光太郎	磁気浮上用いたエッジレス・ダンパレススピーカの作製に関する研究
菊地 信哉	サーモトロピック液晶の光透過応答特性の温度依存性
楠 光介	高機能磁気デバイスの磁気特性評価～マイクロストリッププローブを用いた極薄膜透過率計測～
小林 一貴	ボールミルにより作製した Fe-Ni 合金の規則相および窒化相の構造と磁気的性質の評価
齋藤 樹	Cr 鋼の窒化後焼入れに関する金属学的考察
佐藤 大暉	黄橙色残光性蛍光体 Li ₂ SrSiO ₄ :Eu, Dy の焼成
佐藤 富士明	リード楽器の発生機構とシュリーレン撮影法による空気流れの観測
清野 史崇	有限要素法 (FEM) 新生児聴覚モデルを用いた中耳病変予測
清野 優	車内換気に関する数値シミュレーション
千葉 諒	不可視情報の光学的識別における評価法に関する研究
角田 圭佑	レーザー加工を施した金属と樹脂の接合強度に及ぼす成形保持圧力の影響
寺島 康平	高品位分光イメージング用液晶波長可変フィルタの特性向上設計に関する研究
寺嶋 慶起	Mg-Al-Y 合金における新規規則構造の組成依存性
中島 賢也	窒化した Cr 鋼の曲げ疲労特性に及ぼす表面相構造の影響
新沼 光	渦電流ディスクブレーキによる発電に関する研究
西浦 和孝	一様流中における旗のはためき運動の実験的研究
渡邊 正法	自走式スターリングエンジンの性能向上
栗原 風太	地方都市における公共ホールのマスタープランの検討に関する研究-N 市文化会館の利用実態に基づいて-
酒井 俊史	震災復興におけるまちづくり協議会の役割及び組織体制の変化-名取市閑上地区を事例として-
野村 広道	応力場における表層コンクリートの透過性と影響要因に関する実験的研究
星 歩美	東日本大震災の非コミュニティ型災害公営住宅の暮らしの変化と満足度
松川 その美	震災を契機とした美術館の社会的な役割と運営課題の変化
村上 美穂	避難施設における熱中症を考慮した温熱空気環境の実測と対策
若松 尚輝	発災後の福島県中山間地域における住み方の動態
相澤 祐樹	メトロノームアプリケーションの携帯端末上への効率表示
池田 萌香	オノマトペを利用した触感に基づく布材料の分類
菊地 凜	球技フォーメーションシミュレータにおけるデータ入力手法の改善
北村 勇喜	Leap Motion を用いたバーチャルクレイモデリングシステム
穴戸 拓也	ソフトウェアルータを用いたネットワーク学習システムの開発
高橋 琴音	音声が遅れを伴う補聴システムの聞き取り性能評価
高橋 優元	高精度なソフトウェアタイムスタンプ方式とネットワーク計測への応用
豊田 理乃	高専における電子工作理解のためのツール開発 - 高専の指導者および学生に向けた授業支援ツール -
畠山 巧幹	C# 言語に対応した頭部運動感応型聴覚ディスプレイの開発
藤田 武憲	徐々にテンポ変化が可能なメトロノームの作成
三浦 綾郁	PCCS を用いた配色学習支援ツールの開発と評価
吉田 純一	MIDI 音楽データを用いた音楽ジャンル判別に関する研究

卒業生・修了生の研究題目一覧

知能エレクトロニクス工学科

学生氏名	研究題目
阿久津 樹輝	Bluetooth Low Energy Android Side
安住 亮佑	g-C ₃ N ₄ とZnOナノ材料のコンポジット塗布膜の研究
安藤 昌広	ZnO光導電型UVセンサに関する研究
安堵城 優希	ブロック状光学素子を用いた偏光に関する実験教材の開発
伊藤 元気	Zn/Cu積層膜への熱処理による ZnO薄膜の作製
江寄 文哉	共鳴的エネルギー移行過程を用いた高効率熱源の研究 -同温度の熱源に対するエネルギー移行の効果の比較-
遠藤 優磨	総輪駆動型エコラン競技用電気自動車(SEV-U15)の開発
及川 右貴	複数独立駆動型電気自動車の駆動システム開発 -駆動輪間のトルク差0制御-
岡本 壮司	失語症患者向けリハビリ環境の マルチプラットフォーム化の試み
柿崎 一崇	高透磁率パーマロイを有する医療磁気刺激用コイルの検討
柏 真理実	ナノミスト発生装置による酸化インジウム薄膜の試作
菊田 賢太郎	多段入力のある階層型ニューラルネットワークの学習能力の解析
菊池 歩	ニューラルネットワークの自己組織化能力の解析とその応用
菊地 一徳	Bluetooth low energy SensorTag side
北村 奏	失語症患者のためのリハビリアプリ開発-絵画配列-
木村 棕	群ロボットによる自律的な行動獲得と問題解決法
小林 隼太	走査プローブ顕微鏡による高密度磁気記録の検討
後藤 悠	カーボンファイバー(繊維)上に形成した酸化窒化物積層塗布膜の研究
齋藤 琢	失語症におけるリハビリ環境改善の取り組み-柔軟なリハビリプログラムの表現に向けて-
佐藤 宏紀	複数台ロボットの共調動作における未踏領域の探索
鈴木 貴美恵	打音検査装置の開発とそのデジタル信号処理
鈴木 智裕	共鳴的エネルギー移行過程を用いた高効率赤外熱源の研究 -共鳴的エネルギー移行前後の違い-
鈴木 勇人	薄膜製造プロセスのための超音波噴霧システムの開発
曾我 旺央	異構造バイラテラルシステムの構築
高橋 直之	競技用電気自動車開発におけるマイクロコンピュータの換装
田嶋 紘大	光の反射を用いる糖度計学習キットの開発
田中 優太	プロジェクション型多指向映像ディスプレイにおける表示品質改善に関する検討
沼倉 正太	Webアプリケーションを用いた教育支援システムの開発 -提出物管理システムにおける機能追加-
野村 聡志	地上構造物モデルを用いた MW-FDTD法による雷放電電磁界解析
服部 星輝	上下分離型ロボットの姿勢制御に関する研究
古澤 晶	Webアプリケーションを用いた教育支援システムの開発 -電子メールを用いた連絡システムにおける機能追加-
古澤 棟熏	失語症患者のための言語機能訓練管理システムの開発
文屋 勇人	失語症患者のためのリハビリアプリ開発-書字-
細矢 涼平	カビ検出を目的としたデジタルホログラフィにおける再生画像のSN比の検討
眞壁 鉄平	確率的動作を持つニューラルネットワークの能力解析とその応用
松本 光平	エレクトロケミカルスマートウィンドウに用いられる酸化スズ薄膜の粗面化に関する研究
三國 裕真	超小型電気自動車における回生機能の改善とその実装
山田 晃大	携帯型超音波ミスト発生装置によるスズ添加酸化インジウム薄膜の作製と評価
我妻 達也	UAVの空撮画像を用いた SfMによる地表構造物の3次元復元

情報システム工学科

学生氏名	研究題目
青木 香奈	低消費電力のためにIEEE802.15.4を用いたIEEE802.11の制御手法の提案
安達 敬仁	重度肢体不自由児のための打楽器演奏装置の製作キット化
阿部 祐作	leJOS EV3用走行ログビューアの開発
阿部 寛	モデル検査法によるフォールトトレランス検証 -通信リンクにおける故障モデル-
石井 宙希	4次元正多胞体のリングの皮むき展開図について -正120胞体の場合-
遠藤 駿太	形態素解析を用いたメールの分類精度向上の検討
大友 楓雅	教育用CPUボードのモニターツール開発
大村 俊太	慣性ロータを用いた倒立振子の振り上げおよび立位制御シミュレーション
小野寺 弘晃	クラスターモンテカルロ法による反強磁性Isingモデルの熱容量と磁化率の関係
小山 真司	深層学習による動き特徴抽出の基礎的研究
片平 大輝	ARを応用した愛子地区歴史探訪アプリケーションの開発
刈部 遥	限定合理性のモデル化と検証 -事例:小売り企業の製品販売戦略-
菊地 雅哉	小段差乗り越え機能を備えた電動車いすの開発 -機構部の開発-
小林 拓矢	障害児者のための自己調整支援システム開発に向けたデモンストレーションアプリ開発
小松 秀生	音楽づくり教育支援システムの開発及び評価(海外長期インターンシップ)
齋藤 喜運	端末状況を考慮した拡張現実感に基づくスタンプラリーに関する研究
坂本 圭祐	TSPへのモジュラーニューラルネットワークの適用調査
佐藤 甲斐	自転車用高効率ペダリング機構の開発
佐藤 晴輝	SMTソルバを用いた要求仕様書の検証
庄子 雄貴	音声による感情認識に関する研究
庄司 義和	軟磁性フェライトコアのJiles-Athertonヒステリシスパラメータ
高木 佑汰	小段差乗り越え機能を備えた電動車いすの開発 -電装部の開発-
高桑 葵	4次元正多胞体のリングの皮むき展開図について -正600胞体の場合-
高橋 広輝	感情を表す動作の分類に関する研究
高林 佳稀	IoTにおける動的な分散処理を行うデータ収集システムの提案
津田 瑞紀	液位センサを用いたX-Yステージ による液面制御に関して
手代 篤	スペクトル分解法による磁気ヒステリシス計測システムの構成
中 朝哉	テーブルトップ・スマートデバイス間の情報連携に関する研究 -ブレイクストーム支援への応用-
房州 貴弘	教育動画配信システムの管理・運用及び復旧
三浦 拓巳	ARM PSoCを用いた教材の作成
村上 善紀	Unityでの3Dグラフィックス表現及び開発における課題とその解決手法の模索
目黒 美彩	ゲーミフィケーション導入によるWebシステム開発-質問掲示板システムの構築-
山田 達也	利用者情報を用いた災害時情報推薦に関する研究
山田 直史	携帯端末向け利用者指向動画配信システムの設計と実装(海外長期インターンシップ)
吉田 留依	マルチモジュラーニューラルネットワークの最適動作パラメータの調査
吉成 未菜里	要求文のベクトル化による要求文間の包含関係検出法の提案
吉野 和馬	GUI型LDAP情報管理システムの開発
藁谷 幹	重度・重複障害児向けトレーニングシステムのためのスイッチ教材ソフトの制作とカスタマイズ機能の開発

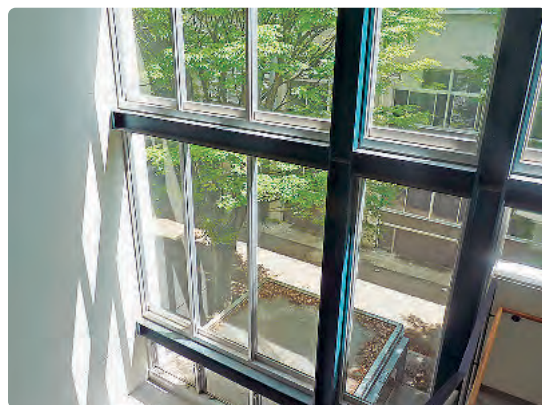
卒業生・修了生の研究題目一覧

情報ネットワーク工学科

学生氏名	研究題目
青木 美優	内径20μm 極細径銀中空ファイバの製作法に関する研究
我妻 奏	実空間での操作を用いたナチュラルユーザインターフェース開発
阿部 建太	操作手順記憶再生アプリケーションの改良 - マウス操作の記憶再生 -
安部 広夢	ICT農業情報の標準化を見据えたデータベースシステムの研究
飯野 直弥	バスケットボールデータ管理システムの再構築と多機能化
井澤 凜	バスケットボールデータ管理システムの機能向上
石川 義薫	3Dプリンタを用いた100GHz帯SBD検出器の作製
岩月 理羽	生体情報を用いた集中度計測のシステムに関する研究 計測システムの小型化と複数クライアント通信の実施について
内ヶ崎 藍	光通信有機材料の設計に関する研究
岡田 麻美	グラウンドクラッタの季節変化の観測
川島 誠也	市民農園における作物育成状況記録カメラの開発
川村 壮人	位相限定相関法を用いた画像レジストレーション手法の検討
菊地 拓実	シリコンアクリル樹脂を用いた高強度中空ファイバの製作
喜藤 義徳	Development of the Weather Station using Arduino
木村 駿	グラフ理論学習支援システムの利便性向上
朽木 悠弥	腹部X線CT画像を用いた体格位置合わせのためのランドマーク検出
佐々木 志歩	「枕草子」可視化カード提示システムの開発 ～章段の3次元表現の検討～
佐々木 匠	多様体の分類理論
佐藤 雅	位相限定相関法による掌紋画像照合
常前 勇太	エリア放送の運用とその応用に関する研究
高橋 溪太	ステンレスパイプを用いた無破断中空ファイバの製作
高橋 颯流	Evaluation of Electromagnetic Field Strength in Turku
田代 夕稀	有機圧電ポリマーを用いた多機能センサに関する研究
千葉 孝宇	流星電波観測支援システムの開発
新関 莉理	自動整合回路による無線電力伝送システムの効率改善
新田 彰啓	発声練習支援アプリケーションの開発 周波数領域における発声音程の正確さと成長過程の可視化
橋本 雄大	圧電フィルムを用いた水素ガスセンサに関する研究
堀江 直樹	Mバンドレーダによる航空機の観測とウェザークラッタの抑圧
本郷 雅大	分散センサによるISM帯電磁環境評価システム
宮地 健太	Innovation Project Free Wi-Fi Map in Helsinki- Report of International Internship Program
武藤 匠汰	デジタル回路の消費電力時間変化がもたらす電磁的情報漏えいに関する研究
目黒 航平	農園環境情報収集のためのセンサネットワークに関する研究
森 駿介	分散キャンパスでの情報基盤運用管理支援システムの開発
蓬田 祥太郎	スマート市民農園による農園活動活性化に関する研究
渡辺 奏子	ディスプレイテンペストに関する研究
GANTUMUR AMARZUL	特異値分解とウェーブレット変換との比較

情報電子システム工学専攻

学生氏名	研究題目
飯柴 佑太	シーケンス制御による倒立振子の立位制御への応用
石川 貴範	ネットワークを利用したバスケットボール支援システムの開発
生出 真人	機械学習に基づく携帯端末向け利用者指向型動画配信サービスに関する研究
尾崎 太飛	情報理論的手法による量子古典対応の研究
小山 泰生	人と相互作用するテーブルトップ型ロボットの開発
門脇 伸明	位置情報を考慮したP2P型安否情報共有システムに関する研究
萱場 啓太	個人化サービスにおける利用者情報開示程度決定に関する研究 - 利用者情報開示程度を考慮した災害時情報共有手法に関する研究
國分 志磨	携帯端末を対象とした屋内位置推定手法に関する研究
西條 涼平	人と相互作用する人工物のためのモーションエディタの開発
齋藤 芳紘	アナログディジタル変換実験用シミュレータの開発
齋藤 亘	共鳴的エネルギー移行を用いた高効率赤外熱源の研究開発
佐藤 泰次朗	酸化亜鉛を用いたX線センサの作製に関する研究
佐野 修弥	スマート市民農園によるコミュニティ活性化に関する研究
柴田 彬凱	有機樹脂を用いた複屈折光学素子の開発とその応用
鈴木 啓大	異なる入力を利用する深層学習に関する基礎的研究
清野 聖人	GPUによる誘電体を含むZ行列生成の高速化に関する研究
高橋 優一	平均場理論に基づく動的ヒステリシスモデリング
高山 敏生	国際化に対応したシーケンス実験キットの製作に関する研究
丹野 一弥	学生証を活用した自転車貸出システムの提案
早坂 優希	ゲーミフィケーション導入によるWebシステム開発の有効性と課題の検討
古川 和朋	言語聴覚士のための言語機能訓練管理システムの開発に関する研究
萬代 光治	GPUに搭載可能なモーメント法快速アルゴリズムの開発
三浦 和弥	言語聴覚士のための言語機能訓練環境の改善に関する研究
村上 厚介	IEEE802.11干渉下におけるIEEE802.15.4のAckとQを用いた動的バックオフ制御方式の提案
森 健太	ICT農業のための低コストセンサネットワークシステムの開発
森藤 達也	医療磁気刺激装置に関する研究
山澤 賢悟	光導波路を用いた液体用光学特性測定装置に関する研究
山田 希望	html5のcanvas要求を使用したWebアプリケーションに対するテスト支援システムの開発



研修旅行について

名取研修旅行

電気システム工学科 4年 武田 尚人

11月10日～13日の3泊4日の日程で研修旅行に行った。高専では4年生での学校行事ということで、入学以来とても待ちわびていた。しかし私の研修旅行は波乱のスタートとなったのである。

行き先が関西方面ということで、仙台空港から伊丹空港まで飛行機で行くことになっていた。10日の朝、親の車で空港に向かっていく最中に、予期せぬ事故渋滞につかまってしまい、予定していた飛行機に乗ることが出来なくなってしまった。空港を目前にした道路上で渋滞につかまっている車中から、自分が乗るはずだった飛行機が離陸するのを眺めるのは何ともいえない気持ちだった。

研修旅行では様々な企業を見学させていただいたが、一番印象に残ったのはシャープミュージアムである。かなり古い製品から開発中の製品まで幅広く展示しており、技術の発展の様子を感じることが出来た。

今思えば最初のハプニングも良い経験になったと思う。何はともあれ全員無事に終わることが出来て良かった。今回の研修旅行を通じて、クラスの間などとの関係をより深めることが出来たと思う。これからそれぞれの進路に向かうわけだが、お互いに支え合って気持ちよく卒業できるように生活していきたい。



姫路城にて



シャープ
ミュージアムにて

研修旅行見学先メモ(名取キャンパス)

【日程:平成27年11月10日(火)～13日(金)、
建築デザイン学科は11月11日(水)～15日(日)】

学 科	主な見学先
機械システム 工学科	ヤマハコミュニケーションプラザ&工場見学、 トヨタ産業技術記念館、三菱重工名古屋航空宇宙 システム製作所、ダイキン工業、海遊館
電気システム 工学科	姫路城、三菱日立パワーシステムズ高砂工場、 奈良公園・東大寺、神戸製鋼所加古川製鉄所、 シャープミュージアム、カワサキワールド・神戸海洋博物館
マテリアル 環境工学科	自然科学研究機構 核融合科学研究所、西島製作所、 清水寺、金閣寺、銀閣寺、南禅寺、東福寺、醍醐寺、 興福寺、東大寺
建築 デザイン学科	直島(地中美術館ほか)、犬島(犬島精錬所美術館ほか)、 京都、奈良(大仏殿・東大寺・法隆寺)、大阪、高専デザコン

広瀬研修旅行

情報システム工学科 4年 高橋 美咲

私たちのクラスは大阪と兵庫へと行ってきました。私はクラスの実行委員として、「しおり」の製作から携わりました。過去の先輩方の作成した「しおり」などの参考資料が一切なく、大まかな行程表しか確定していない状態からのスタートで、とても大変でした。

ですが、色々学ぶことが多い上になかなか経験出来ないことだと思うので、自分に必要な力を自覚するための試練だと思い、自分に出来る最大限のクオリティの「しおり」を作ろうと自分を奮い立たせました。

研修旅行初日の午前中は順調に進んでいたのですが、最初に訪問する企業「NECイノベーションワールド関西」へ行くまでに渋滞につかまってしまい、2番目に訪問するはずだった博物館には行けませんでした。しかし、ホテルに到着するには早すぎるということでバスの中から少し大阪観光をしました。予期せぬハプニングでしたがとても楽しかったです。

2日目は世界に誇るスパコンの「京」を見るため、兵庫にある「理化学研究所計算科学研究機構」へ行きました。写真でしか見たことが無かった物を実際に見ることが出来て、とても感慨深かったです。

その後、姫路城へと行ったのですが坂と階段が急で、スーツ(しかもスカートとストッキングとパンプス)で来たため、階段の上り下りにはとても気を使いとても疲れました。しかし、さすが世界遺産!そんな事も忘れてしまうくらい、とても上からの景色も外観も美しかったです。

3日目の自主研修もそれぞれに楽しんでみたいなので、そこもよかったと思います。



NEC
イノベーション
ワールド関西



理化学研究所計算科学研究機構



姫路城

研修旅行見学先メモ(広瀬キャンパス)

【日程:平成27年11月10日(火)～13日(金)】

学 科	主な見学先
知能 エレクトロニクス 工学科	西島製作所、NECイノベーションワールド(関西)、 コカコーラ・ウエスト京都工場、 京セラファインセラミック館、大阪城
情報システム 工学科	NECイノベーションワールド、理化学研究所、 民族学博物館、姫路城
情報ネット ワーク工学科	NTT西日本大阪支店、シャープミュージアム、 東大寺、奈良公園、平等院庭園、 平等院ミュージアム鳳翔館、鳳凰堂

校外研修報告



建築デザイン学科3年
大沼 亮太郎

5月27日に建築デザイン学科3年生は研修旅行で青森県の十和田市現代美術館(西沢立衛設計)と青森県立美術館(青木淳設計)を見学してきました。十和田市現代美術館は、個々のアートに適した空間を敷地全体に分散させ、街全体に開くことで、街全体をギャラリーとしています。青森県立美術館は、縄文土器の発掘跡という土地の持つ形状とホワイトキューブを噛み合せ、建築物としてうまく解いています。どちらも僕たちの学ぶべき大事な考え方がうまく表現されています。

事前に配られた資料をしっかりと読み、バスの移動中もあちこちで建築トークが繰り広げられました。その姿はまさに建築教育の理想です。3時間の見学に対し、移動時間が10時間という長旅は、反対する人も多くいましたが、終わってみれば皆が大きな満足感を得ていました。

同時期に行われていた建築設計製図Ⅲ『ギャラリーの設計』では、今回の研修で学んだことを自分の設計にうまく盛り込むことができ、多くの学生が有名建築家のアイデアを良い意味で真似ることができました。

この研修旅行を通して有名建築を生で見て、genius loci(土地や歴史との関係性)を建築に生かすことの大切さを知りました。これは僕たちがより深く建築を学んでいくためのひとつのきっかけとなり、これからの学校生活にも大きく生きてくると思います。



十和田市現代美術館



青森県立美術館

校外研修旅行見学先メモ(名取キャンパス)【日程:平成27年5月27日(水)】

学 科	主な見学先
機械システム工学科	THKインテックス(株)、東北ゴム(株)
電気システム工学科	東北電力(株) 研究開発センター、東北電機製造(株)
マテリアル環境工学科	JX日鉱日石エネルギー(株) 仙台製油所
建築デザイン学科	十和田市現代美術館、青森県立美術館



情報ネットワーク工学科3年
村上 孝太

私たちは宮城県の株式会社NTTドコモ東北支社と、岩手県へ校外研修に行きました。校外研修の目的は、企業に訪問することで直に社会に触れ、今後の私達の進路について考えることと、クラス内でのつながりを強めることでした。

1日目、NTTドコモ東北支社の見学をした際に、震災時のための対策ルームがあり、また普段なら入れないような屋上まで見学をさせていただきました。質疑応答をさせていただいた際も、社員の方々が実際の使用している会議室で話を聞かせてもらいました。会議室は、各席に一つ一つディスプレイ・マイクが用意されていて、設備の良さに驚きを隠せませんでした。

見学後に、班ごとに決めた議題について話し合い、短時間でまとめ上げ発表する、というワークショップも行いました。今回の企業訪問で、クラスの全員が良い意味で刺激を受けたのではないかと思います。

宿泊は、岩手県の岩手山青少年交流の家でお世話になりました。食後のキャンプファイヤーは、予定していたプランとは違ってしまいましたが、クラスの特徴の出た楽しいイベントになったので良かったですと思います。

2日目は、小岩井農場で自由行動と猊鼻溪舟下りをしました。昼食はジンギスカンを食べ、猊鼻溪では鯉に餌を上げて、景色を楽しみました。



NTTドコモ東北支社

校外研修旅行見学先メモ(広瀬キャンパス)【日程:平成27年10月8日(木)~9日(金)】

学 科	主な見学先
知能エレクトロニクス工学科	(株)エイアンドティー、アイシンコムクルーズ(株)、龍泉洞
情報システム工学科	岩手県立大学、盛岡手づくり村、小岩井農場
情報ネットワーク工学科	(株)NTTドコモ東北支社、小岩井農場、猊鼻溪

マスコットキャラクター、本校ロゴ(タイプ)の一部変更について

仙台高専マスコット キャラクターについて

高専制度創設50周年記念事業の一環として、仙台高等専門学校に対する印象を幅広い世代に親しみやすいものとし、かつ愛校心を育むことを目的として、仙台高等専門学校マスコットキャラクターコンテスト及び同名称コンテストを実施し、厳正な審査の結果、右のマスコットキャラクターに決定されました。



仙台高等専門学校
マスコットキャラクター
名称「ロジェット」

ロボットの「ロ」、キジの「ジ」、
新学科は七つでタイ語で
七の「ジェット」、
ロジックの「ロジ」から
「ロジェット」と命名

～2014年2月27日掲載WEBより～

「仙台高専マスコットキャラクター」コンテスト表彰を行いました

高専制度創設50周年記念事業として実施した、仙台高専マスコットキャラクターコンテストの表彰が、2月19日(水)と21日(金)に行われ、9作品13名の学生に対して、内田校長から賞状と副賞が授与されました。

マスコットキャラクターは、商標登録の手続きが終了してから公表され、今後、様々な場面で登場する予定です。

○最優秀賞 1作品

情報デザイン学科5年

池田 萌香さん、柿沼 若菜さん、高橋 琴音さん、半谷 久瑠美さん、村田 彩さん

○優秀賞 3作品

生産システムデザイン工学専攻 2年 相原 泉さん

情報デザイン学科 2年 吉田 友梨恵さん

情報通信工学科 5年 伊東 祥太さん

○奨励賞 5作品

情報デザイン学科 5年 三浦 綾郁さん

情報工学科 5年 鈴木 啓大さん

建築デザイン学科 4年 岩原 春香さん

情報システム工学科 2年 五十嵐 文さん

情報ネットワーク工学科 2年 前田 充さん



最優秀賞の学生への表彰



表彰を受けた学生(名取キャンパス)



表彰を受けた学生(広瀬キャンパス)

～2015年3月27日掲載WEBより～

仙台高等専門学校マスコットキャラクター 名称コンテスト表彰式を行いました

高専制度創設50周年記念事業の一環として実施した、仙台高等専門学校マスコットキャラクター名称コンテストの表彰式が、2月27日(金)に行われ、知能エレクトロニクス工学科5年菊池彩愛さんへ内田校長から賞状と副賞が授与されました。



表彰者 知能エレクトロニクス工学科 5年
菊池 彩愛 さん

本校ロゴ(タイプ)の 一部変更について



全国51校の国立高専を設置・運営する独立行政法人国立高等専門学校機構では、教育機関としての高専の統一イメージを社会全体により広く理解していただくため、各校の校名ロゴタイプ中の和文・英文表記を全国で統一しました。

なお、それにともない、本校の英文名称表記は「Sendai National College of Technology」から、「National Institute of Technology, Sendai College」へ変更になりました。

文芸コンクール・読書感想文コンクール

「文芸コンクール」、「読書感想文コンクール」の表彰について

広瀬キャンパス

平成27年度広瀬キャンパス文芸コンクールの表彰式が1月18日(月)、校長室において実施され、学生9名の12作品が入賞し、内田校長より賞状並びに副賞が授与されました。

また、校長から受賞者に向けて、読書によって他人の気持ちを知ることと、これから社会に出るにあたって、文章を書く力を養うことの重要性についてのお話がありました。創作部門に応募された俳句・短歌は短冊にして図書館入り口に掲示しています。

なお、小説と詩については冊子に製本し、図書館で閲覧と貸出しを行う予定です。

<入賞者>

■第一部(読書感想文部門)

優秀賞	知能エレクトロニクス工学科	4年	伊藤 満里奈	「星々の舟」を読んで
優良賞	情報ネットワーク工学科	3年	松原 萌子	「かつくん どうしてボクだけしかくいの」を読んで
奨励賞		1年3組	矢野 隼人	「ころ」を読んで

■第二部(創作部門)

優秀賞	情報ネットワーク工学科	4年	前田 充	「桜の神様」
優良賞	情報システム工学科	4年	菊地 伸一	「失敗による覚悟」
優良賞	情報システム工学科	2年	渡邊 虎太郎	「密室」
優良賞	情報システム工学科	2年	高野 凱貴	(詩)
優良賞	情報ネットワーク工学科	3年	松原 萌子	(短歌)
優良賞	知能エレクトロニクス工学科	2年	大野 未智	(俳句)

■第三部(紹介・書評部門)

奨励賞	情報ネットワーク工学科	4年	西鳥羽 陽	「海賊と呼ばれた男」
奨励賞	情報システム工学科	4年	菊地 伸一	「マンガでわかる!マッキンゼー式ロジカルシンキング」
奨励賞	情報システム工学科	2年	渡邊 虎太郎	「難民探偵」



校長先生からの講評



表彰式後の記念撮影

名取キャンパス

平成27年度読書感想文コンクールの表彰式が2月15日(月)、名取キャンパス第一会議室において実施され、応募数約170編の中から6名が入賞し、内田校長より賞状並びに副賞が授与されました。校長先生からは、理工系学生が読書をするものの意義などについてお話をいただきました。作品は、図書館ホームページに掲載する予定です。

<入賞者>

優秀賞	1年2組	マテリアル環境工学科	木村 大希	いじめについて思うこと
優秀賞	1年4組	マテリアル環境工学科	金子 明日美	「許せない」のはチャンスである
佳作	1年4組	機械システム工学科	内海 力	高瀬舟を読んで
佳作	1年1組	マテリアル環境工学科	千葉 ありさ	確率でみる人生
佳作	1年1組	建築デザイン学科	東條 大輝	想像してほしい、宗教のない世界を。
佳作	1年4組	建築デザイン学科	佐藤 琴乃	「池上彰の憲法入門」を読んで



表彰式後の記念撮影

教職員からの教育研究・業務紹介

名取（教員）

機械システム工学科 准教授 高橋 学



車や船、ロボットなどにはステンレスやアルミなどの金属が使われていますが、紙や粘土のように簡単に曲げたり切ったりできません。本研究室では、金属を加工する装置や加工の様子をモニタリングする方法の研究をしています。最近の研究では、材料内部の温度を超音波で測定する方法を開発しました。この方法は材料内部に温度計を入れなくても使えるので、さまざまな研究に応用できます。

また、非磁性のハサミを研究しています。病院にあるMRI装置は強力な磁場が発生するため、ステンレス製のハサミを近づけると装置に引き寄せられて事故が起きる可能性があります。開発中のハサミが実用化すればこのような事故を防ぐことができます。

電気システム工学科 准教授 山田 洋



私は現在、エネルギーの有効活用、特に、身近にあるけど見過ごして捨ててしまっている「もったいない」エネルギーを利活用する研究を進めております。例えば、上水道は水とエネルギーを運んでいます、そのエネルギーは蛇口の先で捨てられています。このエネルギーを電気エネルギーに変換し利活用可能な状態にできれば、持続発展可能な社会に貢献できます。一つ一つは小さいけれども集約すれば役に立つ、ある意味エネルギーの収穫をいかにできるかを、日々考えております。

また、エネルギーの無駄遣いを減らすため、次世代の移動体についても検討しております。いずれも「マグネ」を軸に何が出来るかを模索している毎日です。

広瀬（教員）

知能エレクトロニクス工学科 教授 園田 潤



東日本大震災前までは電磁波解析・シミュレーションの高速化・高精度化を中心に基礎的な研究をしていましたが、震災後はこれまでの研究を防災・減災に応用しようと、文部科学省の研究助成(科学研究費補助金、通称「科研費」)を受け、地中レーダによる地下構造センシングの高精度化や落雷により生じる電磁界解析など自然災害科学に関する研究をしています。

また、東日本大震災では現在でも2,500名以上の方が行方不明となっていますので、不明者や遺留品を効率的に搜索する手法として、JAXAの人工衛星・航空機搭載レーダや本校所有の地中レーダの組合せ手法を提案し、実際に名取市閼上浜で毎月1回程度、ボランティアの方々と搜索と実証実験を実施しています。レーダ技術による震災不明者搜索活動に参加したい、あるいは関心のある方はご連絡ください。

情報システム工学科 助教 小林 秀幸



昨今、グローバル化と少子化により英語による専門科目の講義へのニーズは高まっています。そのような中、昨年度、三機関連携による教員グローバル人材育成力強化プログラム(長期FD)に参加し、ニューヨークなどで英語での授業の仕方を学び、マレーシアの複数の大学で実際に英語による授業を行ってきました。

昨年度の経験を活かし、学生にも教員の皆様にも、英語での授業へのハードルを下げられるようなお手伝いができればと思っています。

現在、我々長期FDのメンバーが作成した、英語で授業を行うための教育用のコンテンツがブラックボードにて提供されていますので、興味のある方は是非ご利用下さい。

名取（職員）

学生課教務係 伊藤 広樹



平成24年10月に運良く採用され、現在まで学生課教務係で勤務をしています。教務係は成績、学籍の管理やインターンシップ、シラバスの取りまとめ、オープンキャンパス、入試説明会などの業務をサポートする形で携わっています。

私は主に、定期試験業務、成績の集計、証明書の発行などを担当しています。学生課は学校行事に係わることも多いので、自分が学校で働いているということをより強く実感できるような部署だと思っています。教職員の方々、学生の皆さんがより良い環境で学業、研究、課外活動などに取り組めるよう、微力ながらお手伝いをさせていただければ幸いです。

今後とも、よろしくお願いいたします。

広瀬（職員）

学務課学生係 鈴木 勇斗



私が所属する学生係では、授業料免除や奨学金の申請、部活・学校行事の課外教育支援、就職に係るキャリア支援、学生寮の管理及び運営などの業務を担当しています。おそらく学生係に限らず、学務課の職員と聞くと窓口対応を行っている様子を思い浮かべるとは思いますが、案外パソコンに向かって仕事をしている時間が多く、自分自身も赴任した当初はそのことに驚きを感じていました。

この係は学生や先生方と接する機会がとても多いので、色々な方とコミュニケーションを取れることにとても喜びを感じています。そのため窓口で応対するときは、常に相手の立場に立ってわかりやすく丁寧に接することを日々心がけております。

退職教員メッセージ

仙台高専での思い出と期待

校長 内田 龍男



宮城高専と仙台電波高専が統合されて半年ほどたった2010年4月に赴任してきました。両キャンパスとも田園風景豊かな素晴らしい環境で、勉強するには最適な場所という印象を受けたことが懐かしく思い出されます。

その1年後の2011年3月に未曾有の東日本大震災に見舞われ、甚大な被害を受けました。教職員の方々の献身的な働きにより、安否確認や安全確保から始まりその後何とか復旧を果たすことができました。一方、その年は体育館や運動場が使えない中で、学生諸君の頑張りが各所で見られました。柔道の団体優勝、硬式野球の優勝、ロボコンの優勝とロボコン大賞のダブル受賞をはじめとして多くのクラブが立派な成績を収め、困難に立ち向かった学生諸君のたくましさに関心しました。

また、2011年の2月には、広瀬キャンパスの学生寮でノロウイルスが発生し一晩のうちにたくさんの寮生が感染して次々と倒れていく出来事がありました。この時、教職員や多くの寮生が自らの感染の恐れにもひるまず発病者の介抱、救援、清掃に立ち向かっていった姿にも強い感銘を受けました。これこそ正に真の協調であり、思いやりであり、人間として立派な行動だったと思います。素晴らしい人間力を発揮してくれた一面であり、感動させられた出来事でした。

最近では、高専の将来をかけた教育、研究、社会貢献の改革への取り組みに、多くの教職員の方々が立ち向かい一步一步前進していく姿を見て、関係者の方々に心から敬意を表しております。

このようなたくさんの思い出を残し、また一部道半ばで高専を去ることに心残りはありませんが、一方で、素晴らしい教職員の方々の存在に安心と誇りを感じております。

仙台高専の発展を願い心からお祈り致します。

30年間のご支援への感謝

知能エレクトロニクス工学科 教授 大泉 哲哉



今、定年退職を迎え、これまで小生を支えて下さった皆様へ心からの感謝を申し上げたいと思っています。有難う御座いました。

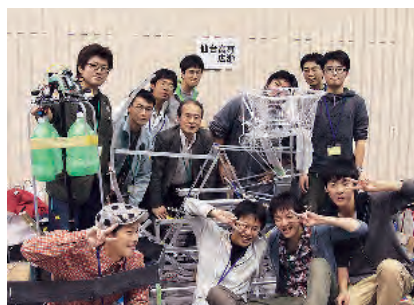
30年前、仙台電波高専へ赴任して、教員会議では歯に衣着せぬ発言をし、ベテランの先生方から「10年早い! (黙ってなさい)」と怒られ、学生一人ひとりを相手に夜遅くまで口頭試験をやって、周囲の先生から「攻めの教育は疲れるよ! (やめなさい)」と諭され、守衛さんからは「鍵をかけられません! (帰りなさい)」と文句を言われたりと、それまでの慣行を逸脱するとんでもない新参者でした。

しかし、当時教務主事の第四代校長山田竹實先生をはじめ、多くの教職員に支えられて、電子制御工学科の能動的学習カリキュラムの構築と長期実践、創造的モノ作り教育のための設備整備などの仕事ことができました。そして、多くの学生・卒業生たちの目覚ましい活躍を見聞きできたことが、「攻めの教育」継続の大きな支えとなりました。

また、後援会、同窓会からの絶大なご支援によって、ロボコンなどでの実践教育を27年間継続できました。さらに、それまで有り得なかった学会発表学生への旅費支援を認めて頂いたおかげで、多くの研究者が育ちました。

すでに文字数制限を大幅に超え、30年間のご支援を書ききれません。とにかく多くのご支援のおかげで幸せな教員生活でした。有難う御座いました。

学生・卒業生を含めた「仙台高専」の益々のご発展を期待しております。



2011NHKロボコン東北大会にて

東日本大震災から5年～震災記録誌について～

—東日本大震災から5年—

『震災記録誌

「東日本大震災から学んだこと」

～仙台高専

学校機能回復までの道のり～』のご紹介



平成23年(2011年)3月11日の東日本大震災から、今年で5年が経ちました。仙台高専も地震発生により甚大な被害を受けましたが、現在は建物も復旧し、地震の記憶も次第に薄れつつあります。

仙台高専では、本校が直面した未曾有の大震災にどのような対応をしたか、また学校の機能回復までの過程でその時々とった行動等、数々の貴重な体験と反省を後世に伝えるため、『震災記録誌「東日本大震災から学んだこと」～仙台高専 学校機能回復までの道のり～』を、平成24年11月に発行しております。

5年の節目で今一度あの震災を振り返り、危機管理や防災対策の大切さを忘れないために、その一部をご紹介します。

なお、全文を下記URLの本校WEBページに掲載しております。

『震災記録誌「東日本大震災から学んだこと」

～仙台高専 学校機能回復までの道のり～』

<http://www.sendai-nct.ac.jp/college/pages/002398.php>



活動状況報告

国際交流（広瀬）

広瀬キャンパス国際交流委員会委員長 教授 藤木なほみ

広瀬キャンパスでは、今年度も4月初めにフランス北部のリール、ベテューン、カレーの3つのIUT（技術短期大学）から4名、4月半ばからはフィンランドのトゥルク応用科学大学（TUAS）から4名の学生を其々3か月の期間迎えました。また、学期構成が変わったタイ王国キングモンクット工科大ラカバン校（KMITL）からは6月初めに12名の大学3年生を6週間迎えて、キャンパスが大分賑やかな雰囲気になりました。

後期になるとフィンランドのヘルシンキメトロポリア応用科学大学（HMUAS）から3名の学生、KMITLから2名の大学院生を迎えました。研修生は皆各自の専門分野に近い先生達の研究室に配属され、短期プロジェクトに取り組みます。今年度は、例年のフードパーティなどの交流会に加え低学年のホームルーム行事に参加したり、高専祭でフィンランド料理のブースを開いたりと、広く多くの学生さん達と触れ合う機会が持てました。

一方、派遣では、フィンランドに6名、フランスに1名、タイには、今年から専攻科のクォーター制を受けて6名の学生が海外インターンシップに参加し、それぞれ貴重な経験を積んで来ました。11月の研修旅行でも15名の4年生がタイを訪問し、春に本校を訪れたKMITLの学生さんと一緒にバンコクの街歩きを大いに楽しんだようでした。



1年生の合同ホームルームで、ラップランドを紹介



タイの博士課程学生による最終成果発表会



フランスの学生による華道体験

国際交流（名取）

名取キャンパス国際交流委員会委員長 教授 遠藤 昇

名取キャンパスでは、前期にリールIUTから2名、TUASから2名の学生をそれぞれ3か月、後期にはHMUASから1名の学生さんを5か月迎えました。

派遣では、5月に学生10名が協定校であるドイツの技術学校フェリックス・フェッヒェンバッハ・ベルーフスコレーク（FFB）等を訪問しました。研修を通して、ドイツとの生活のスタイルの違い、文化の違い、また日本と似ていると感じる点など様々なことを学ぶことができました。さらにプレゼンテーションの様子は地元の新聞社に取材・報道される等、充実した成果をあげることができました。

後期には、2名の学生が約半年間、HMUASに滞在し、自らのプロジェクトや勉学をすすめてきました。



FFBの学科見学



FFB派遣学生のプレゼンテーション



FFB副校長先生との集合写真

キャンパストピックス

名 取

総務課庶務係

北山専門教育課長が本校を視察

文部科学省高等教育局 北山専門教育課長が、10月7日(水)に本校を訪問、名取キャンパスを視察されました。

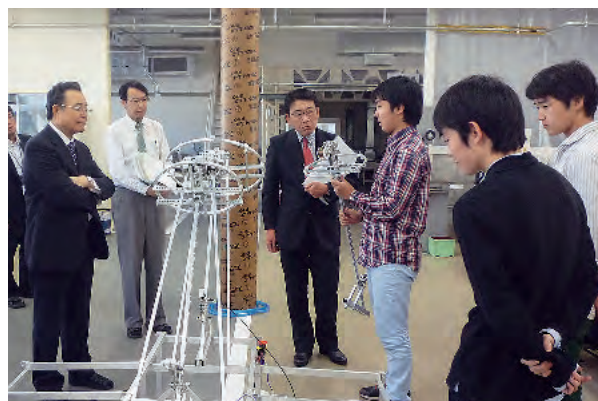
内田校長及び総務担当副校長の案内により、多目的交流スペースでのアクティブラーニング授業の様子等を見学し、その後、仙台高専の概要説明と、学校運営等についての意見交換を行いました。

創造教育センターでは、学生が直接、高専ロボコン大会に向け製作したロボットの説明を行いました。

高専の現場を直接見ていただくことができ、本校の活動をPRできる大変有意義な機会になりました。



アクティブラーニングを取り入れた授業の様子を視察



学生が製作したロボットの説明を聞く北山課長(中央)

広 瀬

施設課施設係

厚生会館改修工事について

平成27年度営繕事業として厚生会館食堂の改修工事を実施しました。

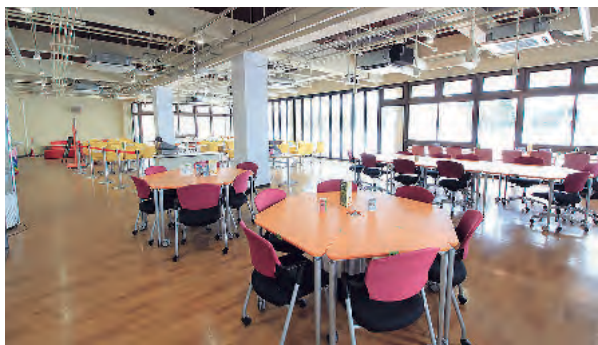
今回の改修目的は、食堂を多目的スペースとしてリニューアルし、会議・学習スペース等、様々な用途に利用していただけるよう整備したものです。

工事内容は、床の張替え、エアコン・換気設備の新設、照明のLED化、LANの整備、屋外デッキの設置等になります。あわせて、椅子、テーブルも新調しております。

また、アクティブラーニングに対応できるように、プロジェクター、ホワイトボードも設置し、状況に応じて椅子、テーブルを並べ替え、フレキシブルに利用できるようになっております。

工事期間中は、食堂の営業休止等、皆さまには大変ご不便をおかけしました。ご協力いただきありがとうございました。さらに事業実施にあたりましては、松韻会(広瀬キャンパス同窓会)様より多大なるご寄付を頂きましたことを心より御礼申し上げます。

今後、多くの皆さまにご利用いただけるよう、施設の運用方法についても検討していく予定です。



並べ替え可能なテーブル



開放的でエアコンも新設された快適な空間

研究室案内

「佐藤拓研究室」

電気システム工学科 助教 佐藤 拓

電気システム工学科の佐藤拓研究室では、「ワイヤレス給電」に着目し、医療や自動車に関係した研究を進めています。医療関係では、充電式心臓ペースメーカの実用化に向けて充電状況推定システムの研究を行っています。自動車関係では、ミニモデルでのワイヤレス給電システムの研究を行い、最近では高齢者向け電気自動車の開発プロジェクトを開始しています。また、企業との共同研究も行っています。

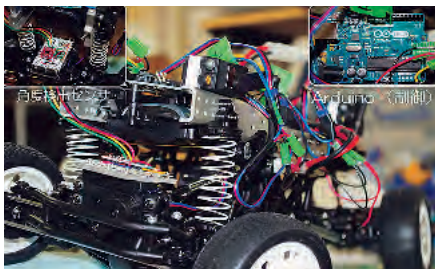
本研究室では現在、専攻科生3名、5年生4名、4年生4名の学生が在籍しており、毎年1～2名が専攻科へ進学し、研究を継続しています。東北大学へ進学する学生も多く、毎年、学会発表を積極的に行い、学会賞も受賞しています。4年生では、総合科目Bにエントリーして、電気自動車関連のモノづくりをし高専祭で外部へ発表しています。

医療や電気自動車に興味のある、高専生らしい学生を募集しています。

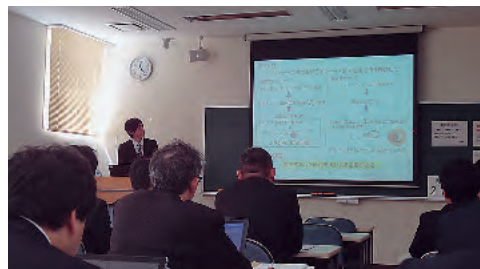
佐藤拓研究室に入って自分でしてみたい研究をとことんまでやってみませんか？



総合科目で作製したEVカート



小型モデルでのアクティブサスペンション制御



専攻科生の学会発表風景

教育研究支援基金事務室からのお知らせ

仙台高等専門学校教育研究支援基金について

「仙台高等専門学校教育研究支援基金」は、①教育・研究の推進等、②学生への奨学金等、③産学連携・地域貢献、④国際交流活動等、⑤キャンパスの環境整備等、⑥その他基金の目的達成に必要な支援等のために活用させていただいています。

本校は、「仙台高等専門学校教育研究支援基金」を生かして更なる向上を目指して参ります。今後とも、皆様のご理解と格段のご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。ご寄附の方法は本学ホームページに詳細を掲載しております。ご不明な点等については遠慮なく、お問い合わせ願います。

「仙台高等専門学校教育研究支援基金」についての問い合わせ先

仙台高等専門学校教育研究支援基金事務室(総務課総務係)

TEL:022-391-5508

E-mail:kikin@sendai-nct.ac.jp

公式ツイッターについて

ホームページ記事の新着情報を随時発信！



<https://twitter.com/sendaikosen>

仙台高専では、ホームページのデザイン変更にあわせて公式アカウントを設置しました。仙台高専のホームページ記事の新着情報を随時発信しています。なお、本アカウントは情報発信専用ですので、返信、リツイート及びダイレクトメッセージへの個別の対応等はいりませんのでご了承願います。

編集 後記

「仙台高専だより」の第3号をお届けします。今回から年1回の発行となります。資料としての役割の他、学生の生き生きとした活動と、学校での出来事が皆様に伝わるよう留意して編集しております。表紙左下の写真は校舎をスクリーンにしたプロジェクションマッピングの上映シーンです。学生が3ヶ月間作成に奮闘し、好評を博しました。

さて、先日芥川賞作家丸山健二氏、小松左京賞作家伊藤致雄氏に続く本校OB作家で「このライトノベルがすごい大賞の栗山千明賞」受賞の加藤雅利氏がお来校、新著をご寄贈くださいました。図書館で貸出可能です。文芸コンクールでは、毎年長編小説の創作に挑む学生がいます。将来作家デビューするかなと楽しみです。(編集委員 佐藤敏行)

仙台高専だより【第3号】 平成28年(2016年)3月 発行:仙台高等専門学校

〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央四丁目16番1号

電話:022-391-5513(総務課情報企画係) ホームページ <http://www.sendai-nct.ac.jp/>